

ファムビル[®]錠250mgを 服用される方へ

腎機能が低下している患者さんや血液透析を受けている患者さんでは、投与間隔をあけて減量して投与する必要があります

監修：東京女子医科大学 皮膚科 教授 川島 眞 先生

医師・薬剤師の皆様へ

〈腎機能低下患者さんへの減量について〉

ファミビル錠(一般名:ファミシクロビル)は、体内でペンシクロビルとなり、主に腎臓から排泄される薬剤です。腎機能が低下している患者さん(高齢者を含む)や透析を受けている患者さんでは、本剤の排泄が遅延し、ペンシクロビルの高い血中濃度が持続するおそれがあるため、投与間隔をあけて減量して投与する必要があります。これらの患者さんを見極めるためにも、投与前に問診し、必要に応じて腎機能検査を実施してください。腎機能が低下している患者さんに本剤を投与する場合は、下記の腎機能に応じた本剤の減量の目安を参考に、患者さんの状態を観察しながら慎重に投与してください。

〈重大な副作用について〉

ファミビルは下記の重大な副作用が報告されています。投与期間中は患者さんの観察を十分に行い、異常が認められた場合には、投与を中止し、適切な処置を行ってください。

- 1 「錯乱」や「幻覚」、「意識消失」、「痙攣」などの精神神経症状。
- 2 「中毒性表皮壊死融解症(Toxic Epidermal Necrolysis:TEN)」、「皮膚粘膜眼症候群(Stevens-Johnson 症候群)」、「多形紅斑」などの重篤な皮膚障害。
- 3 急性腎不全。
- 4 「筋肉痛」、「脱力感」、「CK(CPK)上昇」、「血中及び尿中ミオグロビン上昇」を特徴とする横紋筋融解症。

■ 効能・効果

単純疱疹、帯状疱疹

■ 用法・用量

- 単純疱疹:通常、成人にはファミシクロビルとして1回250mgを1日3回経口投与する。
- 帯状疱疹:通常、成人にはファミシクロビルとして1回500mgを1日3回経口投与する。

〈用法・用量に関連する使用上の注意〉

腎機能障害患者:腎機能障害のある患者では投与間隔をあけて減量することが望ましい。
[「腎機能に応じた本剤の減量の目安」を参照]

血液透析患者:血液透析患者には本剤250mgを透析直後に投与する。
なお、次回透析前に追加投与は行わない。

腎機能に応じた本剤の減量の目安^{注)}

クレアチニンクリアランス(mL/分)	単純疱疹の治療	帯状疱疹の治療
≥60	1回250mgを1日3回	1回500mgを1日3回
40-59		1回500mgを1日2回
20-39	1回250mgを1日2回	1回500mgを1日1回
<20	1回250mgを1日1回	1回250mgを1日1回

注) 外国人における成績をもとに設定した。

● 禁忌を含む使用上の注意については添付文書をご参照ください。

ファムビル錠250mgを服用される方へ

このお薬は、たんじゅんほうしん単純疱疹とたいじょうほうしん帯状疱疹の原因となるウイルスの増殖を抑えます。効果があらわれるまでに少し日数がかかることがあります。ご自身の判断で飲む量を加減したり、中止したりしないで、医師の指示通りに服用してください。

服用前

- 透析を受けている方、腎臓が悪いと言われたことのある方は、お薬の量の調節が必要な場合もありますので必ず医師・薬剤師にお伝えください。

服用中

- 服用中に下記のような症状があらわれた場合は、すぐに受診してください。

- 考えがまとまらない、判断や考えがおかしくなる
- 幻覚・幻聴(ないものが見えたり、誰もいないのに話し声や物音が聞こえたりする)
- 意識がなくなる
- 高熱を伴い、目の充血や口のただれが出てきた
- (患部とは別に)広範囲に^{ほっしん}発疹(ぶつぶつや^{はんでん}斑点)が出てきた
- 薬を飲む前に比べて尿量が減った、または尿がほとんど出ない
- むくみが出た
- 赤褐色の尿が出た
- 手足・肩・腰などの筋肉痛
- 脱力感(手足に力が入らない)

その他、異常を感じた場合は、放置せず医師・薬剤師にご相談ください。

裏面も必ずお読みください

日常生活の注意

● 服用中は、普段より多めに水分をとるように心がけましょう

腎臓からお薬が排泄されやすくなります。

※水分の摂取を制限されている患者さんは、医師の指示に従ってください。

● できるだけ安静にしましょう

十分な睡眠と栄養をとり、精神的・肉体的な安静を心がけることが回復への近道です。

● 水ぶくれやかかさぶたにはなるべく触れないように気をつけましょう

水ぶくれが破れると、細菌による感染が起こりやすくなります。

患部を触った後は石鹸で手をきれいに洗いましょう。

● 帯状疱疹の患者さんは、患部を冷やさないようにしましょう

冷えると痛みがひどくなりますので、できるだけ温めて血行をよくしましょう。

ただし、使い捨てカイロや温シップ薬を使用する場合は、やけどやかぶれに注意してください。

● 帯状疱疹の患者さんは、症状が出ている間は乳幼児・小児には近づかないようにしましょう

水ぼうそうにかかったことのない乳幼児・小児に、

水ぼうそうを発症させる可能性があります。

● 単純疱疹の患者さんは、症状が出ている間は他者との接触を控えましょう

単純疱疹のウイルスは接触により感染します。

● 自動車の運転等、危険を伴う機械の操作を行う場合には十分に注意しましょう

意識障害(気を失う、もうろう状態)等の副作用が報告されています。

- その他、わからないこと、気になることがあれば、医師・薬剤師にご相談ください。

販 売  **maruho** マルホ株式会社
大阪市北区中津1-5-22

製造販売 **旭化成ファーマ株式会社**
東京都千代田区神田神保町1-105

提 携 ノバルティス ファーマAG

 **NOVARTIS**